

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://mylibrary.maeda1.jp/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0449

(注)本稿は2018年8月7日から20日まで5回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2018.8.26
前田 高行

イスラエルを上回る UAE: E-Government 指数(2018年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その3)

目次	頁
1. 「E-Government 開発指数」について	2
2. 2018年の E-Government 開発指数	2
3. 前回(2016年)との比較: MENA 19か国中15カ国が世界ランク下落	3
4. 要素別開発指数	3
5. 主な国の要素別開発指数の比較(レーダーチャート)	4
6. 過去5回の世界ランクの推移	5

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の19の国と1機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら19カ国・1機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第3回のランキングは、国際連合(UN)が行った E-Government Survey 2018 の「E-Government Development Index(E-Government 開発指数)」について MENA 諸国をとりあげて比較しました。

* ホームページ: <http://unpan3.un.org/egovkb/en-us/Reports/UN-E-Government-Survey-2018>

1. 「E-Government 開発指数」について

E-Government 開発指数は世界各国政府の情報通信技術(ICT, Information & Communication Technology)の開発利用状況を比較調査したものであり、2003年に第1回報告書が発表され、2010年以降は隔年で調査が実施されている。調査の結果は指数化され順位付けされているが、調査は(1)Online Service(オンライン・サービス)、(2)Telecommunication Infrastructure(通信インフラ)及び(3)Human Capital(人材)の3つの分野で構成され、それらを総合した E-Government 開発指数(E-Government Development Index)の4つの指数が示されている。

今回の調査対象国の総数は193カ国であり、MENAについてはパレスチナ自治政府を除く19カ国が評価されている。

2. 2018年の E-Government 開発指数 (末尾表 3-T01 参照)

2018年の E-Government 開発指数(EGDI)が MENA で最も高いのは UAE であり、同国の指数は 0.8295、世界21位である。これに続くのがバハレーンの0.8116及びイスラエルの0.7998で世界順位はそれぞれ26位、31位である。調査報告書ではEGDI指数0.75以上を Very High EGDI としており MENA 諸国ではこれら3カ国が該当する。

MENA4位から8位まではクウェイト(EGDI 0.7388、世界41位)、カタール(EGDI 0.7132、世界51位)、サウジアラビア(EGDI 0.7119、世界52位)、トルコ(EGDI 0.7112、世界53位)及びオマーン(EGDI 0.6846、世界63位)である。MEN 上位8カ国のうちイスラエルとトルコを除く6カ国は GCC 諸国である。GCC6カ国は UAE、サウジアラビアなど豊かな産油国が多く、また絶対君主制国家として国情が安定している。MENA においては豊かな財政と安定した社会が E-Government の大きな要素であると言えそうである。

9位以下はチュニジア(EGDI 0.6254、世界80位)、イラン(EGDI 0.6083、世界86位)、ヨルダン(EGDI 0.5575、世界98位)、レバノン(EGDI 0.5530、世界99位)、モロッコ(EGDI 0.5214、世界110位)である。EGDI が0.75未満、0.50以上のこれらの国々は High EGDI の国とされている。

MENA14位以下は EGDI 指数が0.500未満であり Middle 或は Low ランクにとどまる。各国の EGDI 指数と世界順位は以下の通りである。

エジプト(EGDI 0.4880、世界114位)、アルジェリア(EGDI 0.4227、世界130位)、リビア(EGDI 0.3833、世界140位)、シリア(EGDI 0.3459、世界152位)、イラク(EGDI 0.3376、世界155位)、イエメン(EGDI 0.2154、世界186位)

MENA19か国の平均 EGD I は0. 5821で、世界順位は89位に相当する。因みに世界1位はデンマークであり、同国のEGDIは0. 9150である。また日本は世界10位、米国は11位である。中国のEGDIは0. 6811、世界順位は65位であり MENA のオマーンよりやや低いランクである。

3. 前回(2016年)との比較: MENA19か国中15か国が世界ランク下落(末尾表 3-T01 参照)

前回調査は今回と同じ193か国を対象に行われているが、この時の世界順位を今回と比較すると MENA の平均順位は前回の84位から今回は89位に落ちている。一方で EGD I 指数の平均値は今回の0. 5821に対し前回は0. 5406であり前回より改善している。このことは世界全体の e-government 開発指数がアップしている中で、MENA 諸国の改善の速度が世界平均を下回っていることを示している。

国別に見ると MENA19か国のうち14か国が世界順位を下げ、世界順位がアップしたのは5か国に過ぎない。但し世界順位を下げた国の内 EGD I 指数もダウンしたのは3か国だけであり、残る12か国は指数はアップしたが、世界順位は下がっている。順位を大きく下げたのはレバノン(73位→99位)、モロッコ(85位→110位)、リビア(118位→140位)の3か国である。

これに対して前回よりランクを上げたのは5か国であるが、イランは106位から86位に、またアルジェリアも150位から130位へとランクを20位上げており、トルコも68位から53位に上昇している。また今回イスラエルを抑えて MENA トップになった UAE は前回の29位から21位に上昇している。

4. 要素別開発指数 (末尾表 3-T02 参照)

E-Government 開発指数は(1)Online Service Index(OSI、オンライン・サービス)、(2)Telecommunication Infrastructure Index(TII、通信インフラ)及び(3)Human Capital Index(HCI、人材)の3つの分野で構成されており、それらを総合した世界193か国あるいは MENA19か国の順位はすでに説明したとおりである。本項では各国の3分野の指数及び MENA 内部の順位を概観する。

(1) Online Service Index (OSI、オンライン・サービス)

オンライン・サービスの開発指数が MENA で最も高いのは UAE の0. 9444である。UAE に続いて高いのはトルコ(指数0. 8889)及びイスラエル(同0. 8264)、オマーン(同0. 8125)、チュニジア(同0. 8056)が0. 800台であり、0. 700台にバハレーン、クウェイト、カタール、サウジアラビアの GCC 各国が並んでいる。指数が0. 600台の国はモロッコ、イランの2か国である。MENA の平均は0. 5936、エジプト、シリア、イラクなどの各国は OSI 指数が低い。

(2) Telecommunication Infrastructure Index (TII、通信インフラ)

通信インフラの開発度が高い国は UAE(0. 8564)とバハレーン(0. 8466)が指数0. 800台で MENA のトップを占めており、クウェイト、イスラエルの2か国が0. 7000台、カタールが0. 6000台、オマーン、サウジアラビアおよびレバノンが0. 5000台であるが、その他の MENA 各国は0. 500未満である。因みに日本は0. 8406で UAE、バハレーンよりも低いが、デンマーク(総合世界1位)

或は米国よりも高い。

UAE はドバイが先端インフラを備えた都市としての評価が高く、欧米先進国を上回る水準に達している。MENA の平均値は0.4821であり世界的にかなり低いと言えよう。イラク及びイエメンはこの水準を大幅に下回る0.1000台である。因みに中国の指数は0.4735で MENA ではレバノンとイランの中間に位置している。

(3) Human Capital Index (HCI、人材)

人材面で高い評価を受けているのはイスラエル(指数:0.8635)であり日本より高く米国をやや下回る水準である。イスラエルに次いでトルコ(0.8148)、サウジアラビア(0.8101)が0.800台の指数である。日本の指数は0.8428であり、イスラエルよりも低い。この指数は他の二つの指数に比べ世界的な格差が比較的小さく、MENA の平均値は0.6705となっている。

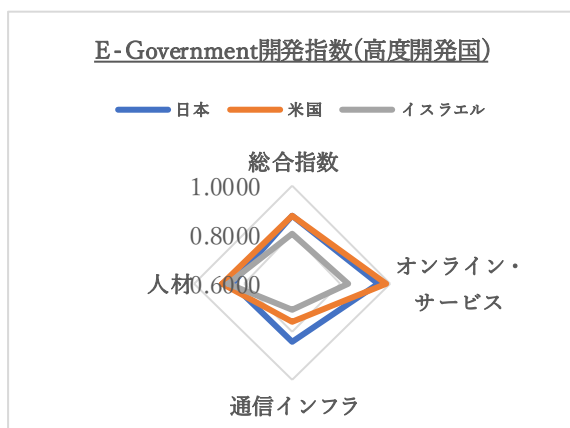
5. 主な国の要素別開発指数の比較(レーダーチャート)

ここでは総合指数及びそれを構成する三つのサブ指数(オンライン・サービス、通信インフラ、人材)についてイスラエル、GCC6カ国及びトルコ、エジプト、イランの MENA10カ国、並びに日本、米国及び中国を加えてレーダーチャートで比較する。

これら13カ国をその便宜的に A グループ(イスラエル、日本及び米国)、B グループ(GCC6カ国)及び C グループ(トルコ、エジプト、イラン及び中国)の3グループに分けレーダーチャートで表示した。

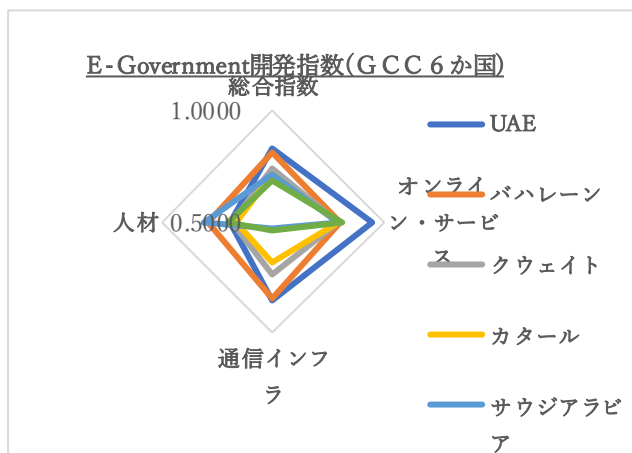
レーダーチャートは例えばAグループの場合は最も外側が1.0000、中心は0.6000であり、各国の評価は総合指数と3つのサブ指数を結ぶ四角形で表される。四角形の各点が外側にあるほどその国の開発度が高いことを示しており、また4点を結ぶ形状が正方形に近いほど開発の均整が取れていることを示している。なお指数の表示範囲は A グループが最外周1.0000、中心部0.6000であり、B グループは1.000~0.5000、C グループは0.9000~0.2000である。

(1) A グループ(高度開発国:日本、米国及びイスラエル)



日本は総合指数(0.8783)が米国(0.8769)とほぼ同じであるが、通信インフラ指数は0.8406で米国の0.7564、イスラエルの0.7095を大きく引き離している。その一方、人材指数は0.8428にとどまり米国(0.8883)及びイスラエル(0.8635)より低い。イスラエルは総合指数が0.7998で3カ国中最も低い。

(2) B グループ(GCC6カ国:サウジアラビア、UAE、カタール、クウェイト、オマーン、バハレーン)

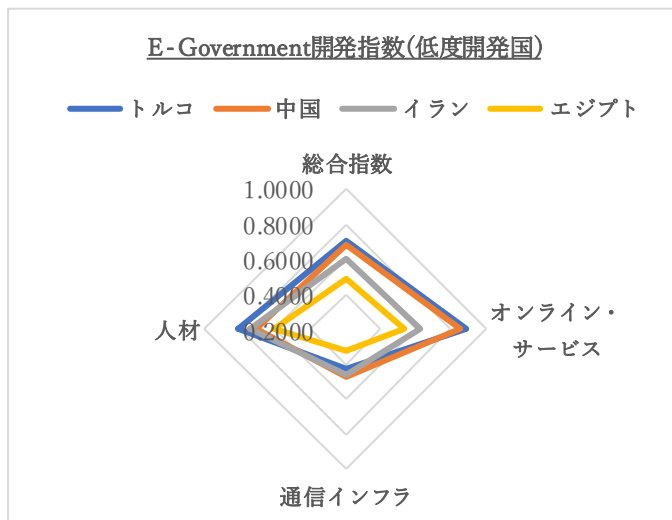


GCC6カ国は MENA19カ国の中では上位8位以内に入っている(GCC 以外はイスラエルとトルコの2カ国)。6カ国の順位は UAE、バハレーン、クウェイト、カタール、サウジアラビア、オマーンの順番であり総合指数は UAE が0. 8295と最も高く、最も低いオマーンは0. 6846である。

分野別で見るとオンライン・サービスは UAE が0. 9444と飛び抜けて高くその他5

か国は0. 8000前後で殆ど差が無い。通信インフラに関しては UAE (0. 8564)及びバハレーン(0. 8466)の指数が高くこれに次ぐのがクウェイト(0. 7394)及びカタール(0. 6797)である。これら4カ国に比べてオマーンとサウジアラビアの指数は極めて低くそれぞれ0. 5399及び0. 5339にとどまっている。

(3) C グループ(低度開発国:トルコ、エジプト、イラン及び中国)



地域の大国であるトルコ、エジプト及びイランは E-Government 開発指数に関しては中国とともに開発度の低い国といえる。4カ国の中ではトルコと中国の開発度が高く、イランがこれに次ぐ開発度を示しているが、エジプトは4つの指数のいずれもが他の3か国を一回り下回っており、低い開発度にとどまっている。

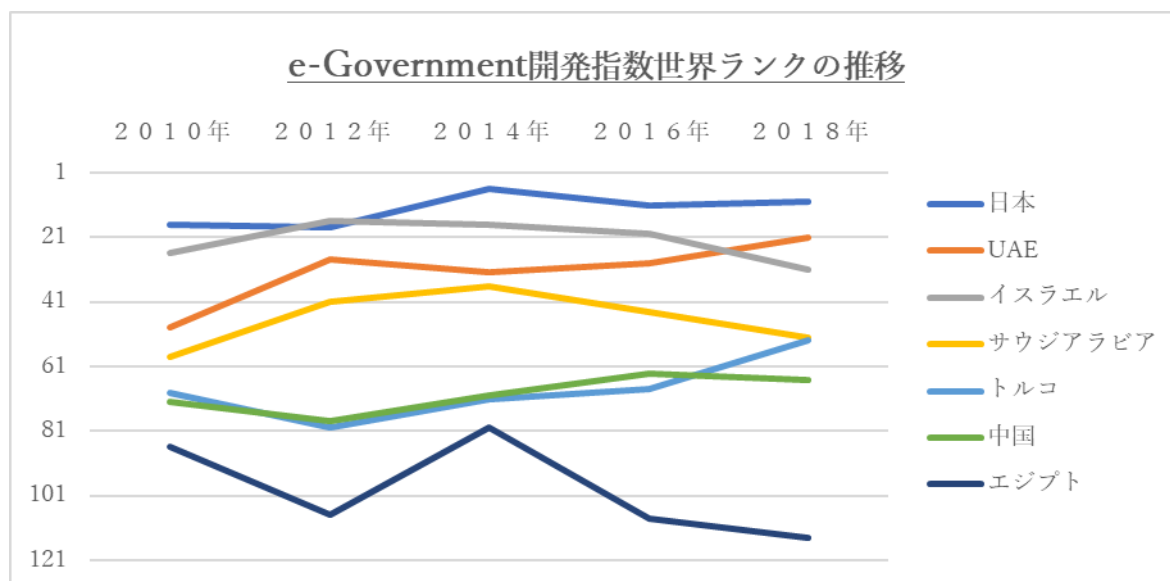
総合指数ではトルコが0. 7112で、これに次いで中国は0. 6811である。

そしてイランは0. 6083、エジプトは0. 4880である。オンライン・サービス指数はトルコ(0. 8889)と中国(0. 8611)が高く、イラン(0. 6319)或はエジプト(0. 5347)と大きな格差がある。通信インフラ指数は中国、イラン、トルコの格差は小さく0. 4000台に並んでおり、エジプト(0. 3222)は世界水準からは大きく見劣りする。人材指数はトルコの0. 8148が最も高く、イラン(0. 7364)、中国(0. 7088)と続きエジプト(0. 6072)が最も低い。

6. 過去5回の世界ランクの推移

MENA 主要5カ国(UAE、イスラエル、サウジアラビア、トルコ、エジプト)及び日本と中国の合計7カ国について2010年以降の過去5回の世界ランクの推移を見ると、まず2010年は日本が世界17位で7カ国の中では最も高く、次いでイスラエル26位、UAE49位、サウジアラビア58位、トルコ69

位、中国72位と続き、エジプトは86位で7か国中最も低かった。



2012年は日本、トルコ、中国及びエジプトの順位が下がり、一方イスラエル、UAE サウジアラビアは順位が上がった。この結果、イスラエルは世界16位となり、日本(18位)を上回り、また UAE、イスラエル及びサウジアラビアの上位グループとトルコ、エジプトの下位グループの格差が拡大した。

2012年以降は日本は世界10位前後を維持し、UAE、トルコ及び中国は世界順位が上昇する傾向を示した。その一方、イスラエル、サウジアラビアおよびエジプトは順位が下落している。2018年の世界順位は日本が10位、UAE は21位であり、いずれも2010年に比べ順位がアップしているが、特に UAE の上昇が目覚ましい。イスラエルの2018年の世界順位は31位であり過去5回の中では最も低く UAE にも追い抜かれたが、引き続き世界の上位グループの地位を保っている。

サウジアラビアは2010年の世界58位から、一時は36位まで上昇したが、その後ダウンし2018年の順位は2010年とほぼ同じ52位に戻っている。サウジアラビアとは逆にトルコは2012年に80位まで下落した後、過去3回連続して順位を上げ、今回はサウジアラビアと並ぶ世界53位に上昇している。

中国は過去5回を通じて大きな変動は無く、現在は世界60位台に定着したように見受けられる。エジプトは下落傾向が止まらず、前々回の世界80位を頂点に前回は108位、今回は114位と大きく後退している。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行

〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601

Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642

E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

e-government 開発指数(e-government development index, EGD)

	国名	2018 年		2016 年		2018 年 vs 2016 年	
		EGDI Score	世界順位	EGDI Score	世界順位	EGDI Score	世界順位
1	UAE	0.8295	21	0.7515	29	0.0780	8
2	バハレーン	0.8116	26	0.7734	24	0.0382	▲ 2
3	イスラエル	0.7998	31	0.7806	20	0.0192	▲ 11
4	クウェイト	0.7388	41	0.7080	40	0.0308	▲ 1
5	カタール	0.7132	51	0.6699	48	0.0433	▲ 3
6	サウジアラビア	0.7119	52	0.6822	44	0.0297	▲ 8
7	トルコ	0.7112	53	0.5900	68	0.1212	15
8	オマーン	0.6846	63	0.5962	66	0.0884	3
9	チュニジア	0.6254	80	0.5682	72	0.0572	▲ 8
10	イラン	0.6083	86	0.4649	106	0.1434	20
11	ヨルダン	0.5575	98	0.5123	91	0.0452	▲ 7
12	レバノン	0.5530	99	0.5646	73	▲ 0.0116	▲ 26
13	モロッコ	0.5214	110	0.5186	85	0.0028	▲ 25
14	エジプト	0.4880	114	0.4594	108	0.0286	▲ 6
15	アルジェリア	0.4227	130	0.2999	150	0.1228	20
16	リビア	0.3833	140	0.4322	118	▲ 0.0489	▲ 22
17	シリア	0.3459	152	0.3404	137	0.0055	▲ 15
18	イラク	0.3376	155	0.3334	141	0.0042	▲ 14
19	イエメン	0.2154	186	0.2248	174	▲ 0.0094	▲ 12
	パレスチナ自治区	-	-	-	-	-	-
	(MENA 平均)	0.5821	89	0.5406	84	0.0415	▲ 5
	全対象国数		193		193	0.0000	0
	日本	0.8783	10	0.8440	11	0.0343	1
	デンマーク/英国	0.9150	1	0.9193	1	▲ 0.0043	0
	米国	0.8769	11	0.8420	12	0.0349	1
	中国	0.6811	65	0.6071	63	0.0740	▲ 2
	ソマリア/ソマリア	0.0566	193	0.0270	193	0.0296	0
	(全対象国数)		193		193		
	(内 MENA 対象国数)		19		19		

Source: UN E-Government Survey 2018

<https://publicadministration.un.org/egovkb/en-us/Reports/UN-E-Government-Survey-2018>

e-government 開発指数(要素別)

	国名	総合指数	Online Service Index (OSI)	Tlecomm. Infrastructure Index (TII)	Human Capital Index (HCI)
1	UAE	0.8295	0.9444	0.8564	0.6877
2	バハレーン	0.8116	0.7986	0.8466	0.7897
3	イスラエル	0.7998	0.8264	0.7095	0.8635
4	クウェイト	0.7388	0.7917	0.7394	0.6852
5	カタール	0.7132	0.7917	0.6797	0.6683
6	サウジアラビア	0.7119	0.7917	0.5339	0.8101
7	トルコ	0.7112	0.8889	0.4298	0.8148
8	オマーン	0.6846	0.8125	0.5399	0.7013
9	チュニジア	0.6254	0.8056	0.4066	0.6640
10	イラン	0.6083	0.6319	0.4566	0.7364
11	ヨルダン	0.5575	0.4931	0.4406	0.7387
12	レバノン	0.5530	0.4722	0.5219	0.6649
13	モロッコ	0.5214	0.6667	0.3697	0.5278
14	エジプト	0.4880	0.5347	0.3222	0.6072
15	アルジェリア	0.4227	0.2153	0.3889	0.6640
16	リビア	0.3833	0.0972	0.3353	0.7173
17	シリア	0.3459	0.2986	0.2532	0.4860
18	イラク	0.3376	0.3194	0.1840	0.5094
19	イエメン	0.2154	0.0972	0.1454	0.4037
	パレスチナ自治区	-	-	-	-
	(MENA 平均)	0.5821	0.5936	0.4821	0.6705
	日本	0.8783	0.9514	0.8406	0.8428
	デンマーク	0.9150	1.0000	0.7978	0.9472
	米国	0.8769	0.9861	0.7564	0.8883
	中国	0.6811	0.8611	0.4735	0.7088

Source: UN E-Government Survey 2018

<https://publicadministration.un.org/egovkb/en-us/Reports/UN-E-Government-Survey-2018>